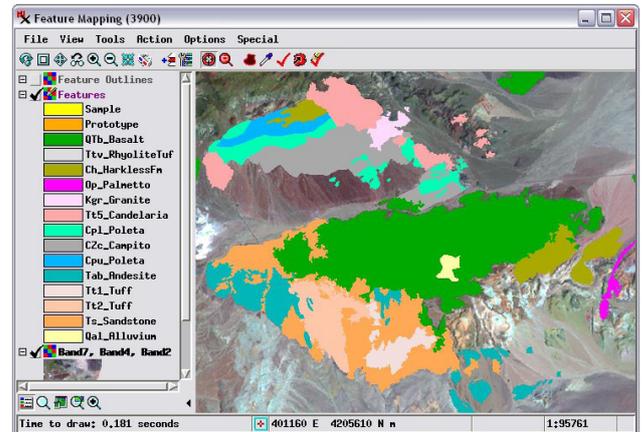


# フィーチャマッピング

TNTmips



フィーチャマッピングは、高品質なハイパースペクトル画像から低品質なビデオの画像まで、航空写真や衛星マルチバンド画像に適用できるインタラクティブな分類処理です。フィーチャマッピングの対話型ツールを使用すると任意の数のバンドを解析し、フィーチャクラスを識別、マークし、測定することができます。ユーザは参照画像で地物の可能性のあるクラスをサンプル領域と指定し、分類処理を行ったあと、フィーチャマッピングツールを使って画像全体またはサンプル領域周辺の連続領域から類似した画像セルを識別します。自動分類処理で使用するためのトレーニングエリアをマークするなど、多くの画像を好きなように分類することができます。

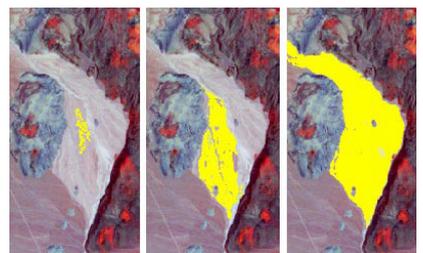


## フィーチャマッピングの主な機能

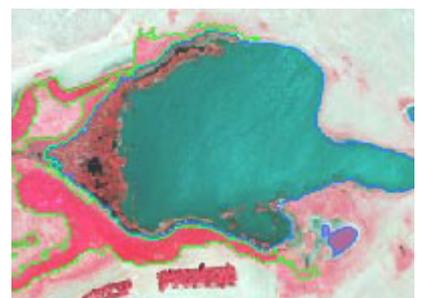
- 画像バンドをいくつでも解析できます。
- 1つのフィーチャクラスを1度で分類します。
- ポイントツールやポリゴンツールを使ってフィーチャクラスのサンプルセルを特定します。
- サンプルセルに完全に一致するか、またはサンプルで定義された範囲により、クラスのプロトタイプを生成します。
- 画像全体から自動的にプロトタイプクラスを生成し、その後、どのセルのクラスタをマークする(クラスに割り当てる)かを決めます。
- フィーチャを個々にマーク、またはポリゴンで選択した複数のフィーチャをマーク、あるいは全てをマークできます。
- フィーチャをマークするとき「マーク時に穴を埋める」オプションを適用できます。
- 連続セルのクラスタのサイズを調節しながらフィーチャクラスのプロトタイプを大きくします。
- 自動分類ツールによって領域を分類 / 誤分類から保護します。
- ポリゴンを作成してプロトタイプやフィーチャをマニュアルで定義できます。
- ポリゴンを描いて任意の領域のクラス割り当てを変更できます。
- フィーチャレイヤを塗りつぶし、または塗りつぶしなしのアウトラインの2通りで表示できます。
- フィーチャをベクタオブジェクトやKMLファイルでも保存できます。
- フィーチャクラスのスタイルをベクタポリゴンに自動的に変換します。
- 分類のための関心領域を定義できます。
- マークした全フィーチャに関する統計のレポートを作成します。
- 終了時に保存されていないオブジェクトを保存するようプロンプトが出ます。
- 自動分類に適さない画像を分類できます。
- オプションでサンプル値範囲とカーソル下のピクセル値を表示し、範囲外の場合にはハイライト表示します。
- 参照画像に複数の表示が使えます。



プロトタイプ領域(赤色)に自動穴埋め機能を適用(緑色)



プロトタイプを大きくする



フィーチャをアウトラインで表示

機能の詳細については下記を参照してください。

テクニカルガイド: [フィーチャマッピング](http://www.microimages.com/documentation/html/Categories/Classification.htm) (<http://www.microimages.com/documentation/html/Categories/Classification.htm>)

チュートリアル: [フィーチャマッピング](http://www.microimages.com/getstart/featmap.htm) (<http://www.microimages.com/getstart/featmap.htm>)

チュートリアル: [画像分類](http://www.microimages.com/getstart/classify.htm) (<http://www.microimages.com/getstart/classify.htm>)